気分(咸桔)陪宝田 陰内煙淮診療計両事

スカ (窓間) 障舌用 阮内保平診療計 回音											
患者氏名				様(男・女)	年	午	В	日生(歳)	身体疾患		
志省民石						-	- 71	1 <u>1</u> ()0%/	既往歷		
担当者サイン	主治医		看護師		精神保健福祉士			作業療法士		その他の 担当者	

目標 入院形態

	入院1週目	入院2週目	入院3週目	入院4週目	入院5週目	入院6週目	入院7週目	入院8週目	入院9週目	入院10週目	入院11週目	入院12週目
	実施項目	実施項目	実施項目	実施項目	実施項目	実施項目	実施項目	実施項目	実施項目	実施項目	実施項目	実施項目
医師 (通常の診察 は除く)	□身体疾患の確 認 (他科医師との連 携)											
	□入院治療・行 動制限の同意取 得 (行動制限は必 要時)	口入院形態・行 動制限の見直し		口入院形態・行 動制限の見直し			口入院形態・行 動制限の見直し				口入院形態・行 動制限の見直し	
	□治療状況の確 認と対処											
	□隔離している 場合、精神症状 の評価※3 □睡眠(自己・看 護師評価) □生活自立度自 己チェック※4	□隔離している 場合、精神症状 の評価※3		口生活自立度自 己チェック※4			生活援助 □生活自立度自己チェック※4 □退院後の生活について(2か月で退院する場合)				生活援助 □生活自立度自 己チェック※4 □退院後の生活 について(3か月 で退院する場 合)	
精神保健福祉士		口社会資源 チェックリスト作成※6		□社会資源 チェックリスト作 成※6 □利用サービス の確認(本人・家 回関係機関との 連携			□関係機関との 連携				口関係機関との連携	
							(2ヶ月で退院する場合) □退院支援 チェックリスト※ 7 □退院後の習慣 スケジールを 認(本人・家族)				(3ヶ月で退院する場合) □退院支援 チェックリスト※ 7 □退院後の習慣 スケジュール確認(本人・家族)	
薬剤師等※1	家族等から服薬	□服薬指導(薬 の説明・副作用 の有無確認)		□服薬指導			□服薬指導 □退院時患者・ 家族服薬指導(2 か月で退院する 場合)				□服薬指導 □退院時患者・ 家族服薬指導(3 か月で退院する 場合)	
	□持参薬チェッ ク	口薬剤の副作用 等の評価%8 口処抗 可抗内容/ 可抗持さは、シン(のP) 換算を確認 が登を確認 が見てでいい。 が関係である。 がとの。 がとの。 がとの。 がとの。 がとの。 がとの。 がとの。 がとの		口薬剤の副作用 等の評価※8			□薬剤の副作用 等の評価※8 □処方内へ終え の確認 □抗持神病(薬を 処方さは、CP検算を行い処方量を 確認				□薬剤の副作用 等の評価※8 □処方内容/量 の確認 □抗精神病薬を 処合され、CP換を 確認	
公認心理師	□精神症状の評 価 ※9	□精神症状の評 価 ※10		□精神症状の評 価 ※11			□精神症状の評 価 ※12				□精神症状の評 価 ※12	
							□WAIS-Ⅲ(必 要時)				□WAIS-Ⅲ(必 要時)	
作業療法士等 ※2			集団作業療法導 入への説明、段 階的導入				精神科リハビリ テーションの確 認				精神科リハビリ テーションの確 認	
	□作業療法のオ リエンテーション □作業療法実施 計画立案	□作業能力評価 ※13		□作業能力評価 ※13			□作業能力評価 ※13				□作業能力評価 ※13	
医師・看護師・薬剤師		□患者・家族と 共に治療方針の 決定※20		□患者・家族と 共に治療方針の 決定※20			口患者・家族と 共に治療方針の 決定※20			□患者・家族と 共に治療方針の 決定※20		
共 剤師	家族への家族教 室案内	会社・家族への心理教育		家族への心理教 育案内	会社・家族への心理教育			会社・家族への 心理教育			会社・家族への心理教育	
通 全職種	□退院前訪問指 導 ※14	□地域移行支援 カンファレンス※ 15		□地域移行支援 カンファレンス※ 15	□退院前訪問指 導 (2ヶ月で退院す る場合)※18		□地域移行支援 カンファレンス (2ヶ月で退院す る場合)※17	□退院前訪問指導(2ヶ月で退院 する場合)※19	□退院前訪問指 導 (3ヶ月で退院す る場合)※18		□地域移行支援カンファレンス(3ヶ月で退院する場合)※17	□退院前訪問指導(3ヶ月で退院 する場合)※19

^{※1}集剤師等、病臓や副作用が評価出来る者
※2作業療法士等、作業遂行機能の評価出来る者
※2作業療法士等、作業遂行機能の評価出来る者
※2作業療法士等、作業遂行機能の評価出来る者
※2作業療法士等、作業遂行機能の評価出来る者
※26、大きな要とする場合は、看護師もHAM一D、YMRS等、これに準じた評価ができるものを用いて評価を行う
※24 生活自立度自己チェックとは、食事、排泄、睡眠、保清、身体状態、精神状態、対人関係等の項目をチェックするもの
※5関係機関とは通院大診療所、相談支援事業所、生活保護担当者等を指す
※24 生治会資源とは年金、精神障害者手帳、自立支援、養育手帳、介護保険、障害認定等の項目をチェックし、今後利用するものが確認できるもの
※7退院支援チェックリストとは、帰宅先の確認、通院医療機関の確認、自立支援、手帳等の利用確認、今後のキーパーソンの確認、必要関係機関等の項目をチェックするもの
※30基剤制作用の確認はDAIー10、SAI-J、DIEPSS等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※30 HAM一D、YMRS、MADRS、コロンビア自数重大度評価尺度、SCIDーII等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※11 HAM一D、YMRS、MADRS、コロンビア自数重大度評価尺度等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※11 HAM-D、YMRS、MADRS、コロジアは教置大度評価尺度等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※11 14 AMPD、YMRS、MADRS、コロジア自教重大度評価尺度等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※11 3POMS、WCST等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※13 POMS、WCST等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※14 入院前の生活環境和理を行う
※15 地域移行支援カンファレンスとは、その月までに行った症状評価、作業能力評価、服薬指導、社会資源の訓整結果等を報告し、退院に向けて地域資源の情報の共有・退院後の地域支援計画立案を行う
※16 疾患に対する教育は、患者及び家族に対して、4週間かけて統合失調症の症状、注意サイン、薬、社会資源についての教育等を行うもの
※17 ※15 に加え、アウリーチや体験的の、計問看護も検討
※18 退院後に記こりうる問題の対処法の確認
※19 退院後の具体的環境調整を行う
※20 自己決定への支援(内服、金銭等)

^{※20}自己決定への支援(内服、金銭等)